

## 2024年3月17日(日) 第二礼拝「イスラエルの回復、永遠の約束」 エレミヤ 31章 35-36節

主は太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とされたように、それぞれに造られた目的があります。イスラエルにも果たすべき使命があり、なくなることはありません。

第一番目、イエス様の初臨の母体となる役割です。人間は罪を犯して墮落し、地上はサタンの支配下となりました。その人間を救うため、神様は女の子孫を通して蛇の頭を踏み砕くと約束されました(創世記3:15)。それは十字架で蛇の頭を踏み砕き、私たちの罪や死の問題を解決して永遠のいのちを与えるという神様の救いの約束でした。神様から召されたアブラハムに始まり、イサク、ヤコブ、十二人の子ども…そして女の子孫としてイエス様が聖霊によって地上に来られました。私たちに福音を与えるためです。イスラエルは、この福音を携えたイエス様をこの世に送るための母体だったのです。「…福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」(ローマ1:16)

第二番目、イエス様の再臨のための役割です。聖書の中でイエス様が再び来られる約束は初臨の約束より多くあります。七つの祭りのうち、過越しの祭り、種なしパンの祭り、初穂の祭り、七週の祭りはイエス様の十字架と聖霊降臨についてです。ラッパの祭り、ヨム・キプール、仮庵の祭りはイエス様の再臨についての約束です。かつて全世界に散らされたユダヤ人は現在、聖書の預言通り、祖国イスラエルに帰還し続けています(エゼキエル39:28)。彼らがイエス様を自分の救い主として受け入れ、「バルハバ、ベツシエム、アドナイ(祝福あれ、主の御名によって来られる方に)」と言う時にイエス様はイスラエル(エルサレム)に再臨されます。そして、サタンは捕らえられて千年間底知れぬところに投げ込まれます。この約束は必ず成就されます。

第三番目、イスラエルの信仰の回復です。「わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。…」(エゼキエル36:24~28) 神様を「アドナイ」と呼ぶほど神様の存在を恐れていたユダヤ人たちは石の心(宗教の霊、孤児の霊)を持ち、律法主義でした。そして、神様のことを「アバ父」と呼んだイエス様を殺してしまいました。そんな彼らはきよい水(イエス様の血潮)によって偶像の汚れからきよめられ、新しい心と新しい霊が与えられると約束されています。聖霊は肉の心、柔らかい心を与えてくださり、神様のおきてに従って歩ませ、神様の定めを守り行わせてくださいます。「父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる」、これは聖霊の働きです。聖霊が父の心を子に悟らせ、子は死に至るまで従順します。聖霊が子に臨む時に神様のおきてと定めを守る者とされるのです。頑なだったユダヤ人たちが聖霊を受ける時、信仰が回復してイエス様を信じるようになり、「アバ、父」と呼ぶようになるのです。「人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、『アバ、父。』と呼びます。」(ローマ8:15) アーメン!